

# 小山市立車屋美術館 館報

令和5年度版(2023年4月～2024年3月)



Kurumaya  
Museum  
of Art

小山市立車屋美術館

## 目 次

|                                                                                     |    |
|-------------------------------------------------------------------------------------|----|
| はじめに                                                                                | 2  |
| I 概要                                                                                | 4  |
| II 展覧会事業                                                                            |    |
| 1. 企画展                                                                              |    |
| (1)第 56 回企画展「廣澤美術館コレクション 横山大観<br>― 心で描いた風景」                                         | 6  |
| (2)第 57 回企画展「細密工芸の華 ― 掛川市二の丸美術館<br>コレクションと小川家コレクション」                                | 8  |
| (3)第 58 回企画展 アートリンクとちぎ 2023 栃木県立美<br>術館収蔵品展「生誕 130 年 古川龍生木版画展 ― 人物<br>モチーフと街景・海浜風景」 | 13 |
| (4)第 9 回「10×15 の世界コンテスト展」                                                           | 15 |
| 2. 展示室貸出                                                                            | 17 |
| III 小川家住宅公開事業                                                                       | 17 |
| IV 教育普及事業                                                                           |    |
| 1. 自主事業                                                                             | 18 |
| 2. その他の事業                                                                           | 18 |
| 3. 車屋美術館ボランティア                                                                      | 20 |
| V 名簿                                                                                | 21 |

はじめに

令和元年に端を発したコロナ騒動はとうとう5年目まで長引き、社会の様々なところで混乱や停滞を招きました。こんな閉鎖的な期間だからこそ、心の安らぎや生きる喜びを求める人々にとって美術館などの文化施設は大きなよりどころとなるはずですが、外出そのものも制約を受ける状況が続きましたので車屋美術館での様々な対策をしながらの運営となりました。

幸い年度後半はコロナも第5類に移行されるなどやっと落ち着きを取り戻し、車屋美術館でもほぼ年度当初の計画通り全事業を実施することができました。

まず企画展ですが、「横山大観 ― 心で描いた風景画展」、「細密工芸の華 掛川市二の丸美術館コレクションと小川家コレクション」、「生誕130年古川龍生木版画展」の3企画でした。

「横山大観展」は、茨城県筑西市の廣澤美術館のコレクションをお借りしたのですが、作家のネームバリューもあって会期中5,000人近いご来館をいただきました。来館者からは、「このような名品が地元で見られるのはありがたい」との声もいただきました。

「細密工芸展」は、江戸から明治にかけて作られた煙草道具を中心とした日用工芸品と、小川家所蔵の工芸品を紹介する展覧会でしたが、日本人の美意識や職人技に見る遊び心なども窺い知れ、市民が各家庭で受け継いでいる伝統工芸品についてもあらためて見直す機会にもなったものと思います。

三つ目の「古川龍生展」は、アートリンクとちぎという栃木県立美術館収蔵品を紹介するものですが、地元小山市出身の作家でありながらあまり知られていないのが現実でしたが、こんな素晴らしい作家が居たことを再認識するよい機会にもなったかと思います。たまたま同時期に東京のステーションギャラリーや県立美術館で催されていた「春陽会100年展」でも彼の作品が紹介されていたこともあり、非常によいタイミングでもあったと思います。

第9回目を迎えた「10×15の世界コンテスト展」は、今や海外からの応募もあり、台湾からの出品作が初めて入賞作品となりました。まさにネット時代のグローバル性を感じるとともに、自分の思いを表現して見てもらう機会を、いかに多くの人が求めているかということもあらためて感じる企画でした。

もう一つ、これは車屋美術館の事業とは直接関係することではないかも知れませんが、小山市の文化を考える意味で画期的な動きがありました。それは、県下第二の都市となった小山市でも、新しい本格的な美術館を作ろうという動きがやっと出てきたことです。

まず市内に小山市美術館整備検討委員会が立ち上がり、広く市民の声を聞く「美術館の未来を考える市民懇話会」が3回にわたり開催され、小山市にふさわしい美術館の在り方に関する提言書が提出されました。

参考までに、市内唯一の公立美術館である車屋美術館の現状と課題と題して資料を配布し、直接意見も申し上げましたが、その際大方の委員から、「車屋美術館では小さくて何かと制約の多い中よく頑張っている」との評価をいただきました。しかし、現状では、展示以外の活動スペースが皆無であること、古民家改造の施設であることから老朽化の問題、そして一番の問題点は収蔵庫（収蔵品）の無いことなど課題は山積状態であり、小山市の未来を考えるとあまりにもお粗末と言えます。

今回の懇話会は小山市にふさわしい美術館の建設に向かう第一歩の動きであり、造るからには中途半端なものではなく、十分な準備や検討が必要であり、最低でも 10 年以上の年月が予想されることから、それまでは車屋美術館が引続き公立美術館としての役割を果たしていかなければならないと考えています。

これまで以上に創意工夫を重ねながら一層の充実を図りたいと思っておりますので関係の皆様や市民の皆さまには変わらぬご支援をお願いいたしまして、はじめのあいさつといたします。

小山市立車屋美術館

館長 中野 晴永



# I 概要

## 1. 運営方針

小山市では、平成19年に国登録有形文化財となった「小川家住宅」（5件：主屋、土蔵、肥料蔵、米蔵、表門）の文化財的価値を尊重しつつ、市民の芸術や歴史に関する知識および教養の向上を図るとともに、地域活動の拠点や文化創造の場として活用することを目的に整備をすすめ、平成21年4月4日（土）小山市立車屋美術館として開館いたしました。魅力的な広い空間をもつ旧米蔵は、小山市にゆかりのある美術作品をはじめ、より質の高い多様な芸術作品との出会いの場となる美術展示室、旧肥料蔵は小川家関係資料の展示室として活用しました。このほか、美術に関する調査研究や教育普及、市民ギャラリー、地域学習支援や情報拠点としての機能を持ちます。

「小川家住宅」（小山市文化財展示施設条例第2条）は通年で公開しています。

### 主な業務内容

- ①年3回程度の企画展開催
- ②小川家住宅の公開、管理
- ③市民ギャラリーとしての貸出
- ④美術に関する調査研究
- ⑤教育普及活動（講演会、ワークショップ、アーティストトークなど）
- ⑥美術情報の提供

## 2. 沿革・施設概要

### (1) 沿革

平成19年8月 小川家住宅が国登録有形文化財に登録  
平成21年4月4日 小山市立車屋美術館として開館

### (2) 施設概要

①所在地 栃木県小山市乙女3丁目10番34号  
国道4号沿い、小山市消防署間々田分署南側。JR間々田駅より約300m（徒歩5分）

### ②面積

|                 |                             |
|-----------------|-----------------------------|
| 施設部分            | 2,695.58㎡                   |
| 美術展示室（旧米蔵）      | 198.74㎡（延床面積 238.49㎡）       |
| 小川家関係資料展示室（肥料蔵） | 111.79㎡のうち30㎡（延床面積 155.34㎡） |
| 主屋              | 195.33㎡（延床面積 328.75㎡）       |
| 土蔵              | 41.40㎡（延床面積 82.81㎡）         |
| 表門              | 間口7.3m                      |
| 管理棟             | 78.5㎡                       |
| 駐車場             | 560㎡                        |

## 3. 利用案内

### (1) 小川家住宅

開館時間： 4月～9月 9:00～17:00  
10月～3月 9:00～16:00 ※入館は閉館30分前まで  
観覧料：一般 100（団体60）円、大学生・高校生 50（団体30）円、中学生・義務教育学校生以下無料 ※団体は20名様以上

(2) 小山市立車屋美術館

開館時間： 9:00～17:00 ※入館は閉館30分前まで

観 覧 料： 展示内容によって異なります（中学生・義務教育学校生以下無料）

(3) 休館日

毎週月曜日（休日の場合は除く）、休日の翌日（土・日・祝日にあたる場合を除く）

年末年始（12月28日～1月3日）、館内整理日（毎月第4金曜日）

特別整理期間（年1回、10日以内）

#### 4. 主な出来事

##### 令和5年度(2023年度)

|           |                                                                              |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------|
| 4月22日（土）  | 第56回企画展「廣澤美術館コレクション 横山大観一心で描いた風景」<br>（～6月18日）                                |
| 4月30日（日）  | レクチャー「掛軸ってなんだろう？」<br>講師：黒江将太氏（東洋書画修理技師）                                      |
| 5月13日（土）  | ギャラリートーク 古谷美也子（当館学芸員）                                                        |
| 5月20日（土）  | 第1回車屋美術館ボランティア研修会                                                            |
| 6月4日（日）   | ギャラリートーク 古谷美也子（当館学芸員）                                                        |
| 6月17日（土）  | ギャラリートーク 古谷美也子（当館学芸員）                                                        |
| 7月22日（土）  | 第57回企画展「細密工芸の華—掛川市二の丸美術館コレクション<br>と小川家コレクション」（～9月24日）                        |
| 7月23日（日）  | ワークショップ「キッチンリトグラフ」<br>講師：齋藤千明氏（版画家・白鷗大学教育学部教授）                               |
| 8月13日（日）  | ギャラリートーク 五十嵐直子（当館学芸員）                                                        |
| 8月27日（日）  | ギャラリートーク 五十嵐直子（当館学芸員）                                                        |
| 9月16日（土）  | 第1回小山市立車屋美術館運営委員会                                                            |
| 9月17日（日）  | ギャラリートーク 五十嵐直子（当館学芸員）                                                        |
| 9月24日（日）  | 第2回車屋美術館ボランティア研修会                                                            |
| 10月28日（土） | 第58回企画展「アートのリンクとちぎ2023栃木県立美術館収蔵品展<br>生誕130年古川龍生木版画展—人物モチーフと街景・海浜風景」（～12月10日） |
| 11月1日（水）  | 第9回「10×15の世界コンテスト展」作品募集（～30日）                                                |
| 11月4日（土）  | ギャラリートーク 講師：大城茉莉恵氏（栃木県立美術館研究員）                                               |
| 11月19日（日） | 作品鑑賞会 五十嵐直子（当館学芸員）                                                           |
| 12月3日（日）  | 作品鑑賞会 五十嵐直子（当館学芸員）                                                           |

##### 令和6年

|          |                                 |
|----------|---------------------------------|
| 1月13日（土） | 第9回「10×15の世界コンテスト展」作品展示（～1月28日） |
| 2月1日（木）  | 市民ギャラリー貸出期間（～3月17日）             |
| 3月9日（土）  | 車屋美術館ボランティア研修会                  |
| 3月15日（金） | 第2回小山市立車屋美術館運営委員会               |

## Ⅱ 展覧会事業

### 1. 企画展

#### (1) 第56回企画展「廣澤美術館コレクション 横山大観一心で描いた風景」

会期 令和5年4月22日(土)～ 6月18日(日) 48日間開館  
主催 小山市立車屋美術館  
後援 朝日新聞宇都宮総局、NHK宇都宮放送局、FMオーラジ、  
(株)エフエム栃木、産経新聞社宇都宮支局、下野新聞社、  
テレビ小山放送、東京新聞宇都宮支局、(株)とちぎテレビ、  
(株)栃木放送、毎日新聞宇都宮支局、読売新聞宇都宮支局

#### 概要

横山大観(1868-1958)は、維新の年に生まれ、東京美術学校第一期生、師・岡倉天心のもと日本美術院創設に参加、師亡き後は日本美術院を再興、そして最初の文化勲章受章者となるなど、近代日本画の確立と発展に多大な貢献をしました。「絵は何処までも心で描かねばならぬという一事をわすれてはならぬ」彼は70年に及ぶその画業において、朦朧体など光と空気を表現する新たな技法を試みながら、理想の自然の姿を数多く描きました。

本展覧会では、廣澤美術館(茨城県筑西市)所蔵品より、富士山をはじめとする風景画の名品約26点を栃木県内で初めて展示しました。明治期後半から晩年である昭和期前半までの、大観が心で描いた芸術を鑑賞いただき、近代日本画の流れについて再認識する機会となることをねらいとしました。

観覧者数 4,052人  
担当者 古谷美也子(学芸員)  
作成印刷物 広報用ポスター(B2)、チラシ(A4)

#### 関連事業

(1) レクチャー「掛軸ってなんだろう？」  
講師：黒江将太氏(東洋書画修理技師)  
日時：4月30日(日) 13:30～15:00  
会場：小山市立博物館、参加費無料、参加者:30人

(2) ギャラリートーク (担当学芸員による)  
日時：①5月13日(土) ②6月4日(日) ③6月17日(土) 各14:00～  
会場：当館展示室 参加者:①19人 ②20人 ③24人



出品作品リスト

\*作品の所蔵はすべて廣澤美術館

| No.   | 作者            | 作品名             | 制作年          | 材質       | 形状 | 寸法(cm)      |
|-------|---------------|-----------------|--------------|----------|----|-------------|
| 1     | 横山大観          | 牧童              | 不詳           | 絹本着色     | 軸装 | 112.4×41.4  |
| 2     | 横山大観          | 楊柳喜鵲図           | 1906（明治39）   | 絹本着色     | 軸装 | 119.0×50.3  |
| 3     | 横山大観          | 月下の流            | 1911（明治44）   | 絹本着色     | 軸装 | 124.0×50.0  |
| 4     | 横山大観          | 雪中瀑布            | 1916（大正5）    | 絹本着色     | 額装 | 133.0×51.4  |
| 5     | 横山大観          | たなご             | 不詳           | 絹本着色     | 額装 | 40.5×28.0   |
| 6     | 横山大観          | 「竹十題」聴泉         | 1919（大正8）    | 絹本着色     | 軸装 | 68.7×86.9   |
| 7     | 横山大観          | 夏江雪山            | 1919（大正8）    | 絹本墨画     | 双福 | 各144.0×51.0 |
| 8     | 横山大観          | 飛ひな             | 1930（昭和5）    | 紙本着色     | 軸装 | 45.6×69.6   |
| 9     | 横山大観          | 霊峰（雲海）          | 不詳           | 絹本着色     | 額装 | 46.5×72.0   |
| 10    | 横山大観          | 朝陽              | 1935（昭和10）頃  | 紙本着色     | 額装 | 42.0×67.0   |
| 11    | 横山大観          | 霊峰不二山           | 1935（昭和10）   | 絹本着色     | 額装 | 62.7×84.3   |
| 12    | 横山大観          | 皓月              | 不詳           | 絹本着色     | 額装 | 53.8×72.5   |
| 13    | 横山大観          | 富士霊峰            | 1939（昭和14）   | 絹本着色     | 軸装 | 55.0×71.7   |
| 14    | 横山大観          | 不二霊峰（三保の松原）     | 1939（昭和14）   | 絹本着色     | 軸装 | 54.0×71.4   |
| 15    | 横山大観          | 嵐山秋雨            | 不詳           | 紙本着色     | 軸装 | 55.0×79.0   |
| 16    | 横山大観          | 不二霊峰（夏）         | 不詳           | 絹本着色     | 額装 | 52.5×72.5   |
| 17    | 横山大観          | 雨後之山            | 不詳           | 絹本墨画     | 額装 | 53.2×71.5   |
| 18    | 横山大観          | 大和心             | 1941（昭和16）   | 絹本着色     | 額装 | 54.7×72.3   |
| 19    | 横山大観          | 神洲乃正気           | 1947（昭和22）   | 紙本着色     | 額装 | 58.0×75.5   |
| 20    | 横山大観          | 神國日本（雲海）        | 不詳           | 絹本着色     | 額装 | 54.0×72.8   |
| 21    | 横山大観          | 朝の山             | 不詳           | 絹本着色     | 額装 | 40.5×50.5   |
| 22    | 横山大観          | 海濱松林            | 不詳           | 絹本着色     | 額装 | 45.8×57.1   |
| 23    | 横山大観          | 東海之仙山           | 1955（昭和30）   | 絹本着色     | 額装 | 46.0×57.0   |
| 24    | 横山大観          | 秋               | 1955（昭和30）   | 絹本着色     | 額装 | 45.6×57.1   |
| 25    | 横山大観          | 風蕭々兮易水寒         | 1955（昭和30）   | 絹本墨画     | 軸装 | 62.8×85.6   |
| 26    | 横山大観          | 六根清浄            | 1956（昭和31）   | 絹本墨画     | 軸装 | 63.7×84.5   |
| 参考資料1 | 横山大観<br>大智勝観  | 『大観・勝観 渡伊スケッチ集』 | 1930（昭和5）出版  | 朝日新聞社    |    |             |
| 参考資料2 | 横山大観<br>窪田稻雄編 | 『大観画談』          | 1951（昭和26）出版 | 講談社      |    |             |
| 参考資料3 | 斎藤隆三          | 『横山大観』          | 1958（昭和33）出版 | 中央公論美術出版 |    |             |



(2) 第57回企画展「細密工芸の華—掛川市二の丸美術館コレクションと小川家コレクション」



**会期** 令和5年7月22日(土)～9月24日(日) 53日間開館  
**主催** 小山市立車屋美術館  
**後援** 朝日新聞宇都宮総局、NHK宇都宮放送局、FMおーラジ、  
 (株)エフエム栃木、産経新聞社宇都宮支局、下野新聞社、  
 テレビ小山放送、東京新聞宇都宮支局、(株)とちぎテレビ、  
 (株)栃木放送、毎日新聞宇都宮支局、読売新聞宇都宮支局

**概要** 日本で古来より受け継がれて発展した各種工芸の技が頂点に達したのが、江戸時代末期から明治時代です。中でもたばこ道具は、蒔絵、金工、牙彫など多様な工芸技術が盛りこまれた総合芸術品と言われます。

本展覧会では、掛川市二の丸美術館(静岡県)コレクションより、江戸時代から明治時代に作られた、たばこ入れ、きせる、きせる筒、たばこ盆のほか、懐紙入れ、櫛・かんざしなど約197点を展示しました。あわせて、小山の元豪商小川家の所蔵品より、漆工芸家 柴田是真(1807～91年)の作と伝わる蒔絵椀や絵画、約19点を紹介しました。歴史的建造物がつくる景観とともに、地元文化資源の魅力の再認識をねらいとして開催したものです。

**観覧者数** 1,665人  
**担当者** 五十嵐直子(主任)  
**作成印刷物** 広報用ポスター(B2)、チラシ(A4)  
**関連事業**

(1) ワークショップ「キッチンリトグラフ」  
 講師：齋藤千明氏(版画家・白鷗大学教育学部教授)  
 日時：7月23日(日) 14:00～16:00  
 会場：小山市立博物館、参加費:500円、参加者:14人

(2) ギャラリートーク (担当学芸員による)  
 日時：①8月13日(日) ②8月27日(日) ③9月17日(日) 各14:00～  
 会場：当館展示室、参加者:①6人 ②26人 ③6人

掛川市二の丸美術館コレクション

※作品の所蔵はすべて掛川市二の丸美術館蔵

| No.        | 作品名                | 寸法(cm)         | 時代   | 銘など                               |
|------------|--------------------|----------------|------|-----------------------------------|
| ○たばこ入れ 37点 |                    |                |      |                                   |
| 1          | 金唐革腰差したばこ入れ        | 7.3×11.5       | 明治時代 | 前金具「夏雄」銘、緒締「勝珉花押」銘、筒「高邨光雲刀」銘      |
| 2          | 金唐革腰差したばこ入れ        | 7.3×13.0       | 明治時代 | 前金具「美盛」銘、筒「如藻刀」銘                  |
| 3          | 金唐革腰差したばこ入れ        | 7.0×12.2       | 明治時代 | 筒「光明印」銘                           |
| 4          | 有平縞更紗腰差したばこ入れ      | 7.3×11.0       | 明治時代 | 前金具「光春」銘、筒「松演」銘                   |
| 5          | 亀甲文更紗腰差したばこ入れ      | 7.2×11.4       | 明治時代 | 前金具「夏雄」銘、筒「松月」銘                   |
| 6          | 笹蔓文金更紗腰差したばこ入れ     | 7.0×12.0       | 明治時代 | 筒「江民」銘                            |
| 7          | 杉立駒菖蒲革腰差したばこ入れ     | 7.2×12.0       | 明治時代 | 前金具「勝珉」銘、筒「光明印」銘                  |
| 8          | 杉立菖蒲革腰差したばこ入れ      | 6.2×9.8        | 明治時代 | 筒「泰真」銘                            |
| 9          | 茶蒲団革腰差したばこ入れ       | 7.0×12.0       | 明治時代 | 筒「泰真」銘                            |
| 10         | 古面尽くし絵革腰差したばこ入れ    | 7.0×13.0       | 明治時代 | 前金具「鉄哉花押」銘、緒締「鉄哉」銘、筒「唯我独尊庵主鉄哉花押」銘 |
| 11         | 緑小豆革腰差したばこ入れ       | 7.2×12.3       | 明治時代 | 前金具「盛明印」銘                         |
| 12         | 唐花文絵革腰差したばこ入れ      | 7.4×11.2       | 明治時代 | 前金具「濱野炬随」銘、筒「懷玉斎刻」銘               |
| 13         | 鱗革腰差したばこ入れ         | 7.2×12.0       | 江戸後期 |                                   |
| 14         | 黄縞毛織り腰差したばこ入れ      | 7.7×12.0       | 明治時代 | 前金具「光長花押」銘、緒締「勝廣」銘、筒「光明印」銘        |
| 15         | 雨縞織り木綿腰差したばこ入れ     | 7.0×11.4       | 明治時代 | 前金具「一谷」銘、筒「舟珉」銘                   |
| 16         | 甲比丹縞腰差したばこ入れ       | 7.3×12.0       | 不詳   |                                   |
| 17         | 和歌散らし縫漬し腰差したばこ入れ   | 7.4×12.8       | 明治時代 | 筒「昭玉印」銘                           |
| 18         | パナマ網代編み腰差したばこ入れ    | 7.0×11.0       | 明治時代 | 前金具「船田」銘                          |
| 19         | 相良縫被小豆革半月形腰差したばこ入れ | 5.0×10.2       | 江戸後期 | 筒「梅寿」銘                            |
| 20         | 鶯焦茶天鷲絨半月形腰差したばこ入れ  | 5.3×10.0       | 江戸後期 |                                   |
| 21         | 唐花文金更紗一つ提げたばこ入れ    | 10.0×6.0       | 明治時代 | 前金具「夏雄」銘                          |
| 22         | 唐花文金更紗一つ提げたばこ入れ    | 10.2×7.0       | 明治時代 | 前金具「一宮越前大掾」銘                      |
| 24         | 金唐革一つ提げたばこ入れ       | 10.3×7.5       | 明治時代 | 前金具「雄」銘                           |
| 25         | 金唐革一つ提げたばこ入れ       | 10.3×12.5      | 江戸後期 |                                   |
| 26         | 雲龍文縫漬し一つ提げたばこ入れ    | 13.5×9.0       | 江戸後期 |                                   |
| 27         | 黒棧留革一つ提げたばこ入れ      | 14.7×8.8       | 江戸後期 |                                   |
| 28         | 金唐革一つ提げたばこ入れ       | 13.0×7.4       | 明治時代 | 緒締「勝珉」銘                           |
| 29         | 千筋黄燻革一つ提げたばこ入れ     | 14.0×7.5       | 江戸後期 | 前金具「法眼明龍」銘、緒締「法眼明龍」銘、根付「法眼明龍」銘    |
| 30         | 黒棧留革一つ提げたばこ入れ      | 15.5×10.5      | 江戸後期 | 延べさせる付 雲龍彫り                       |
| 31         | 黒棧留革一つ提げたばこ入れ      | 12.3×8.0       | 江戸後期 | 根付「春明」銘、羅宇させる付 丸に剣酢漿草紋彫り          |
| 32         | 栗の実形とんこ一つ提げたばこ入れ   | 8.5×8.5        | 明治時代 |                                   |
| 33         | 虫尽くし図とんこ一つ提げたばこ入れ  | 8.2×11.0       | 明治時代 |                                   |
| 34         | 青貝宝袋形とんこ一つ提げたばこ入れ  | 9.0×11.5       | 明治時代 |                                   |
| 35         | 達磨形とんこ一つ提げたばこ入れ    | 9.0×9.0        | 明治時代 |                                   |
| 36         | 布袋面形とんこ一つ提げたばこ入れ   | 6.0×8.3        | 明治時代 |                                   |
| 37         | 栗の実形とんこ腰差したばこ入れ    | 6.0×8.3        | 明治時代 |                                   |
| 38         | 竹見立て塗りとんこ腰差したばこ入れ  | 10.0×6.2       | 明治時代 | 「はしー」銘                            |
|            | *たばこ入れ23番は欠番       |                |      |                                   |
| ○たばこ盆 5点   |                    |                |      |                                   |
| 1          | 波に千鳥図蒔絵手付きたばこ盆     | 15.7×20.3×12.6 | 江戸後期 |                                   |
| 2          | 御簾に牡丹蝶図蒔絵手付きたばこ盆   | 17.5×22.3×14.0 | 江戸後期 |                                   |
| 3          | 桐菊唐草図蒔絵たばこ盆        | 20.4×26.8×15.5 | 江戸後期 |                                   |
| 4          | 桑草花夏虫図芝山細工提げたばこ盆   | 30.8×33.0×17.0 | 明治時代 |                                   |
| 5          | 草花鳳凰図蒔絵提げたばこ盆      | 32.0×30.2×18.2 | 明治時代 |                                   |

| No.       | 作品名                | 寸法(cm) | 時代     | 銘など                 |
|-----------|--------------------|--------|--------|---------------------|
| ○きせる 40点  |                    |        |        |                     |
| 名匠のきせる    |                    |        |        |                     |
| 1         | 夫婦きせる              | —      | 不詳     |                     |
| 2         | 麦穂に雀図きせる 作：加納夏雄    | 20     | 明治時代   | 「六十九叟な津を」銘          |
| 3         | 春野図きせる 作：加納夏雄      | 20     | 明治時代   | 「六十九叟な津を 刻 印」銘      |
| 4         | 柳に蛭図きせる 作：加納夏雄     | 20.8   | 明治時代   | 「夏雄 花押」銘            |
| 5         | 旭日に獅子図きせる 作：海野勝珉   | 20     | 明治時代   | 「勝珉 刻」銘             |
| 6         | 秋草に虫図きせる 作：桂光春     | 19.7   | 明治時代   | 「光春 刻」銘             |
| 7         | 唐獅子牡丹図きせる          | 18.3   | 江戸時代後期 |                     |
| 8         | 折入角紋図きせる           | 23.5   | 明治時代   |                     |
| 9         | 牡丹に蝶図きせる           | 27.7   | 江戸時代後期 |                     |
| 10        | 雲龍図きせる             | 19.3   | 江戸時代後期 |                     |
| 11        | 雲龍図きせる             | 19.6   | 江戸時代後期 |                     |
| 12        | 竹に千成瓢箪図きせる         | 25.6   | 江戸時代後期 |                     |
| 13        | 螺旋縞図きせる            | 24     | 明治時代   |                     |
| 14        | 月に秋草図きせる           | 25.6   | 明治時代   | 「正寿 刻」銘             |
| 15        | 細川九曜紋彫りきせる 三本揃い    | 約40    | 江戸時代後期 |                     |
| 16        | 木賊に兎彫りきせる          | 約40    | 江戸時代後期 |                     |
| 17        | 鶴に亀甲花菱彫りきせる        | 約40    | 江戸時代後期 |                     |
| 18        | 枇杷に小禽彫りきせる         | 約40    | 江戸時代後期 |                     |
| 19        | 下り藤花蒔絵きせる          | 21     | 明治時代   |                     |
| 20        | 斑紋彫りきせる            | 19.8   | 江戸時代後期 |                     |
| 21        | 朱漆塗太きせる            | 25.5   | 江戸時代後期 |                     |
| 22        | 瓢箪形掲げきせる           | 11.2   | 江戸時代中期 |                     |
| 23        | 仕掛けきせる（小刀入り）       | 約10    | 江戸時代中期 |                     |
| 24        | 仕掛けきせる（尺付き）        | 約10    | 江戸時代中期 |                     |
| 25        | 釣鐘形太きせる            | 36     | 江戸時代後期 |                     |
| 26        | 手綱彫りきせる（大型）        | 約30    | 江戸時代後期 |                     |
| 27        | 鬼面彫りきせる（大型）        | 約30    | 江戸時代後期 |                     |
| 28        | 菊花彫りきせる（中継ぎあり）     | 約30    | 江戸時代後期 |                     |
| 29        | 宝尽くし図きせる           | 20.5   | 江戸時代後期 |                     |
| 30        | 節分図きせる             | 22.5   | 江戸時代後期 | 「禎廬 花押」銘            |
| 31        | 桜に楓図きせる            | 26     | 明治時代   |                     |
| 32        | 秋草蝶図きせる            | 23     | 江戸時代後期 |                     |
| 33        | 丸に吉祥図きせる           | 23.2   | 江戸時代後期 |                     |
| 34        | 柿に鳥図きせる 作：加納夏雄     | 19.3   | 明治時代   | 「六十九叟な津を」銘          |
| 35        | 薦草図きせる 作：二代豊川光長    | 19.5   | 明治時代   | 「光長 花押」銘            |
| 36        | 猿回し図きせる 作：岡田雪峨     | 20.5   | 明治時代   | 「雪峨 刻」銘             |
| 37        | 高砂図きせる 作：桂野政文      | 20     | 明治時代   | 「政文 花押」銘            |
| 38        | 菊花に雀図きせる 作：海野勝珉    | 19.5   | 明治時代   | 「勝珉」銘               |
| 39        | 桜に小禽図きせる 作：竹山真彦    | 19.8   | 明治時代   | 「明治十四年六月日 竹山真彦作」銘   |
| 40        | 竹に雀図きせる            | 約40    | 江戸時代後期 |                     |
| ○きせる筒 10点 |                    |        |        |                     |
| 1         | 雨後の竹蒔絵きせる筒 作：鶴澤松月  | 21.5   | 明治時代   | 「松月」銘               |
| 2         | 瓢箪に和歌蒔絵きせる筒 作：小川松民 | 21     | 明治時代   | 「忝民」銘               |
| 3         | 六時観音彫りきせる筒 作：加納鉄哉  | 21.5   | 明治時代   | 「唯我独尊庵主鉄哉花押」銘       |
| 4         | 雲中文殊彫りきせる筒 作：高村光雲  | 22     | 明治時代   | 「天正十二年初秋七十二翁高邨光雲刀」銘 |
| 5         | 雲龍彫りきせる筒 作：森田藻己    | 21.5   | 明治時代   | 「藻己刀」銘              |
| 6         | 波に片輪車蒔絵きせる筒 作：小川松民 | 20.3   | 明治時代   | 「忝民」銘               |

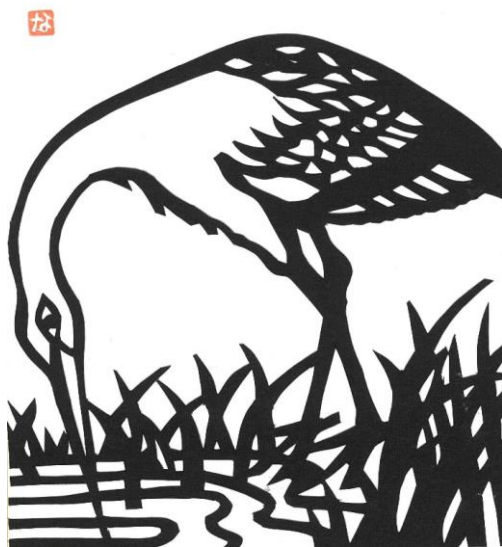
| No.       | 作品名                   | 寸法(cm)    | 時代                  | 銘など             |
|-----------|-----------------------|-----------|---------------------|-----------------|
| 7         | 渦巻文蒔絵させる筒 作：白山松哉      | 20.3      | 明治時代                | 「松哉花押」銘         |
| 8         | 月に鹿図彫りさせる筒 作：二代豊川光長   | 21.5      | 明治時代                | 「光長刀」銘          |
| 9         | 竹見立塗りさせる筒 作：橋本市蔵      | 約20       | 明治時代                |                 |
| 10        | 西遊記彫りさせる筒             | 21.5      | 明治時代                | 「田中花押」銘         |
| ○懐紙入れ 10点 |                       |           |                     |                 |
| 1         | 金唐革懐紙入れ               | 12.5×18.0 | 江戸後期                | 前金具：加藤清正虎退治彫り   |
| 2         | 青更紗懐紙入れ               | 10.0×18.0 | 明治時代                | 板鎖付掛金具：銀小紋尽くし象嵌 |
| 3         | 雲龍文相良縫懐紙入れ            | 9.5×17.0  | 明治時代                | 板鎖付掛金具：銀文様尽くし象嵌 |
| 4         | 金唐革懐紙入れ               | 11.0×18.7 | 江戸後期                |                 |
| 5         | 無地菖蒲革懐紙入れ             | 9.2×20.8  | 江戸後期                | 前金具：火縄銃彫り       |
| 6         | 金唐革懐紙入れ               | 9.5×21.2  | 明治時代                | 前金具：龍彫り         |
| 7         | 丸菱花小紋相良縫冊子入れ          | 14.7×21.3 | 江戸後期                | 板鎖付掛金具：銅・真鍮     |
| 8         | 牡丹文綴織り懐紙入れ            | 10.6×18.7 | 明治時代                | 掛金具：華鎖2本に牡丹彫り   |
| 9         | 大唐花文更紗懐紙入れ            | 9.0×15.2  | 明治時代                | 前金具：雁彫り「嵩廣」銘    |
| 10        | 唐花文更紗懐紙入れ             | 8.6×15.0  | 明治時代                | 前金具：桔梗彫り        |
| ○細密小物     |                       |           |                     |                 |
|           | 根付型着火具 2点             |           | 江戸中期                |                 |
|           | 華鎖 9点                 |           | 江戸中期                |                 |
|           | 小豆鎖 7点                |           | 江戸中期                |                 |
|           | 板鎖 4点                 |           | 江戸中期                |                 |
|           | ミニチュアたばこ入れ 7点         |           | 明治時代                |                 |
| ○櫛・かんざし   |                       |           |                     |                 |
|           | 平打ちかんざし 10点           |           | 江戸後期～明治時代           |                 |
|           | びらびらかんざし 15点          |           | 江戸後期～明治時代           |                 |
|           | べっこうかんざし・笄 28点        |           | 江戸後期～明治時代           |                 |
|           | 櫛・笄 8組                |           | 江戸後期～明治時代           |                 |
| ○浮世絵      |                       |           |                     |                 |
| 1         | 《今様三十二相 上手相》三代歌川豊国    | 約55×45    | 安政6(1859)年頃         |                 |
| 2         | 《今様三十二相 お納がよさ相》三代歌川豊国 | 約55×45    | 安政6(1859)年頃         |                 |
| 3         | 《今様三十二相 出来がよさ相》三代歌川豊国 | 約55×45    | 安政6(1859)年頃         |                 |
| 4         | 《今様三十二相 今にあがり相》三代歌川豊国 | 約55×45    | 安政6(1859)年頃         |                 |
| 5         | 《美艶仙女香》溪斎英泉           | 約55×45    | 文政 3～5(1820～1822)年頃 |                 |

#### 小川家コレクション

※作品の所蔵はすべて個人蔵

|   | 作者名   | 作品名       | 制作年   | 材質技法   | 形態 寸法(cm)         |
|---|-------|-----------|-------|--------|-------------------|
| 1 | 伝柴田是真 | 山水人物図     | 1886年 | 絹本墨画淡彩 | 屏風二曲一隻 各56.0×37.6 |
| 2 | 伝柴田是真 | 富士之図      | 1886年 | 紙本墨画   | 屏風二曲一隻 各22.6×73.0 |
| 3 | 伝柴田是真 | 茶器図       | 1887年 | 絹本墨画淡彩 | 29.3×90.6         |
| 4 | 伝柴田是真 | 恵比寿・大黒    | 不詳    | 絹本墨画淡彩 | 対幅 各103.8×42.0    |
| 5 | 伝柴田是真 | 小品五点 ①茄子図 | 不詳    | 紙本着色   | 8.3×7.3           |
|   |       | ②柘榴図      | 不詳    | 紙本着色   | 8.3×7.3           |
|   |       | ③人物図      | 不詳    | 絹本着色   | 16.6×20.2         |
|   |       | ④燕図       | 不詳    | 絹本着色   | 18.7×16.6         |
|   |       | ⑤亀図       | 不詳    | 絹本墨画   | 18.4×15.6         |
| 6 | 伝柴田是真 | 蒔絵漆碗①蝶    | 不詳    |        | 身外径13.0 蓋外径12.3   |
| 7 | 伝柴田是真 | 蒔絵漆碗②椿    | 不詳    |        | 身外径13.0 蓋外径12.3   |
| 8 | 伝柴田是真 | 蒔絵漆碗③菊    | 不詳    |        | 身外径13.0 蓋外径12.3   |
| 9 | 伝柴田是真 | 蒔絵漆碗④瓢箪   | 不詳    |        | 身外径13.0 蓋外径12.3   |

| No. | 作品名            | 寸法(cm) | 時代 | 銘など             |
|-----|----------------|--------|----|-----------------|
| 10  | 伝柴田是真 蒔絵漆碗⑤菖蒲  | 不詳     |    | 身外径13.0 蓋外径12.3 |
| 11  | 伝柴田是真 蒔絵漆碗⑥山葡萄 | 不詳     |    | 身外径13.0 蓋外径12.3 |
| 12  | 伝柴田是真 蒔絵漆碗⑦流水文 | 不詳     |    | 身外径13.0 蓋外径12.3 |
| 13  | 伝柴田是真 蒔絵漆碗⑧麦   | 不詳     |    | 身外径13.0 蓋外径12.3 |
| 14  | 伝柴田是真 蒔絵漆碗⑨甲虫  | 不詳     |    | 身外径13.0 蓋外径12.3 |
| 15  | 伝柴田是真 蒔絵漆碗⑩高札箱 | 不詳     |    | 身外径13.0 蓋外径12.3 |
| 16  | 伝柴田是真 蒔絵漆盆 甲虫  | 不詳     |    | 36.5×36.5       |
| 17  | 伝柴田是真 蒔絵漆盆 瓢箪  | 不詳     |    | 36.5×36.5       |
| 18  | 伝柴田是真 蒔絵漆盆 山葡萄 | 不詳     |    | 36.5×36.5       |
| 19  | 伝柴田是真 蒔絵漆盆 稻穂  | 不詳     |    | 36.5×36.5       |



(3)第58回企画展アートリンクとちぎ2023 栃木県立美術館収蔵品展  
「生誕130年 古川龍生木版画展—人物モチーフと街景・海浜風景」



**会期** 令和5年10月28日(土)～ 12月10日(日) 37日間開館  
**主催** 小山市立車屋美術館・栃木県立美術館  
**後援** 朝日新聞宇都宮総局、NHK宇都宮放送局、FMおーラジ、  
(株)エフエム栃木、産経新聞社宇都宮支局、下野新聞社、  
テレビ小山放送、東京新聞宇都宮支局、(株)とちぎテレビ、  
(株)栃木放送、毎日新聞宇都宮支局、読売新聞宇都宮支局

**概要** 現在の小山市羽川に生まれた古川龍生(本名 龍夫、1893-1968)は、栃木県立宇都宮中学校、逗子開成中学校に学び、この頃から独学で版画制作をはじめました。25歳の時、東京美術学校日本画科予科に入学、卒業後は木版画の制作に没頭し、日本創作版画協会展や春陽会展での入選を続けます。ところが43歳の頃、病気療養のため作品制作を中断、さらに戦争激化にともない1944年に故郷羽川へ疎開してから、農業会会長を務めるなど地元の農業振興に尽力する日々を送ります。戦後は1951年58歳の時に版画制作を再開し、75歳で亡くなるまで、たゆまずに創作を続けました。  
本展覧会では古川の生誕130年にあたって、作品のほとんどを収蔵する栃木県立美術館所蔵品より木版画40点とスケッチブック等を展示し、小山ゆかりの美術家の顕彰をねらいとしました。

**観覧者数** 1,454人  
**担当者** 五十嵐直子(主任)  
**作成印刷物** 広報用ポスター(B2)、チラシ(A4)  
図録『生誕130年 古川龍生木版画展—人物モチーフと街景・海浜風景』  
体裁：A5判、48頁、図版40点、資料写真7点  
内容：テキスト：五十嵐直子「古川龍生の人物モチーフ、街景・海浜風景について」、図版、古川龍生略年譜、出品作品リスト、参考文献  
編集：五十嵐直子  
デザイン・制作：宮西英洋(大伸社ライブアートブックス)  
発行：小山市立車屋美術館 ©2023

**関連事業**

(1) ギャラリートーク  
講師：大城茉莉恵氏(栃木県立美術館研究員)  
日時：11月4日(土) 14:00～14:45  
会場：当館展示室 参加者:17人  
(2) 作品鑑賞会 (担当学芸員による)  
日時：①11月19日(日) ②12月3日(日) 各14:00～  
会場：当館展示室 参加者:①10人 ②3人

出品作品リスト

※作品の所蔵はすべて栃木県立美術館

| No.   | 作者   | 作品名                            | 制作年    | 材質       | 寸法(cm)    |
|-------|------|--------------------------------|--------|----------|-----------|
| 1     | 古川龍生 | 訪客図                            | 1927年  | 紙、木版     | 22.5×30.0 |
| 2     | 古川龍生 | 婚礼参列者                          | 1928年  | 紙、木版     | 35.0×40.0 |
| 3     | 古川龍生 | 読書                             | 1930年  | 紙、木版     | 53.3×47.5 |
| 4     | 古川龍生 | 婦人ゴルフ姿 打球                      | 1932年  | 紙、木版     | 33.0×25.0 |
| 5     | 古川龍生 | 美人四季（春）                        | 1932年  | 紙、木版     | 38.0×28.0 |
| 6     | 古川龍生 | 美人四季（夏）                        | 1932年  | 紙、木版     | 38.0×28.0 |
| 7     | 古川龍生 | 美人四季（秋）                        | 1932年  | 紙、木版     | 38.0×28.0 |
| 8     | 古川龍生 | 美人四季（冬）                        | 1932年  | 紙、木版     | 38.0×28.0 |
| 9     | 古川龍生 | 四季少女図（春）                       | 1936年  | 紙、木版     | 41.0×31.0 |
| 10    | 古川龍生 | 四季少女図（夏）                       | 1936年  | 紙、木版     | 40.0×31.5 |
| 11    | 古川龍生 | 四季少女図（秋）                       | 1936年  | 紙、木版     | 40.0×31.5 |
| 12    | 古川龍生 | 四季少女図（冬）                       | 1936年  | 紙、木版     | 40.0×31.5 |
| 13    | 古川龍生 | 下野の女                           | 1944年  | 紙、木版     | 33.0×25.5 |
| 14    | 古川龍生 | 老農                             | 1954年  | 紙、木版     | 27.0×36.0 |
| 15    | 古川龍生 | 郊外風景                           | 1955年  | 紙、木版     | 24.0×34.0 |
| 16    | 古川龍生 | 楽しき日曜日                         | 1958年  | 紙、木版     | 27.0×32.0 |
| 17    | 古川龍生 | 記憶の風景                          | 1958年  | 紙、木版     | 31.0×32.5 |
| 18    | 古川龍生 | 少女                             | 1958年  | 紙、木版     | 30.2×25.7 |
| 19    | 古川龍生 | 少年                             | 1958年  | 紙、木版     | 32.0×29.0 |
| 20    | 古川龍生 | 街C                             | 1959年  | 紙、木版     | 25.3×30.7 |
| 21    | 古川龍生 | 街B                             | 1960年  | 紙、木版     | 34.0×28.0 |
| 22    | 古川龍生 | 街の広場                           | 1960年  | 紙、木版     | 30.5×40.0 |
| 23    | 古川龍生 | 街C                             | 1961年  | 紙、木版     | 40.0×35.0 |
| 24    | 古川龍生 | 野の家族                           | 1961年  | 紙、木版     | 28.3×25.3 |
| 25    | 古川龍生 | 人を待つ街かど                        | 1961年  | 紙、木版     | 21.0×33.0 |
| 26    | 古川龍生 | 街A                             | 1961年  | 紙、木版     | 35.0×29.0 |
| 27    | 古川龍生 | 自画像                            | 1961年頃 | 紙、木版     | 31.0×22.0 |
| 28    | 古川龍生 | 街上風物                           | 1962年  | 紙、木版     | 30.0×25.0 |
| 29    | 古川龍生 | 昼の街B                           | 1962年  | 紙、木版     | 31.0×24.0 |
| 30    | 古川龍生 | 銀座の或る店                         | 1962年  | 紙、木版     | 30.0×26.0 |
| 31    | 古川龍生 | 芝生の庭と老人と孫たち                    | 1965年  | 紙、木版     | 34.5×29.0 |
| 32    | 古川龍生 | 海辺の家                           | 1965年  | 紙、木版     | 38.0×30.0 |
| 33    | 古川龍生 | 海辺の町の銀座通り                      | 1965年  | 紙、木版     | 38.0×29.0 |
| 34    | 古川龍生 | 海辺のつどい                         | 1966年  | 紙、木版     | 26.0×33.0 |
| 35    | 古川龍生 | 水浴図                            | 1966年  | 紙、木版     | 15.5×19.0 |
| 36    | 古川龍生 | 夏の砂浜                           | 1966年  | 紙、木版     | 15.5×20.0 |
| 37    | 古川龍生 | 海辺の更衣室                         | 1967年  | 紙、木版     | 29.0×36.0 |
| 38    | 古川龍生 | 真夏の海辺                          | 1967年  | 紙、木版     | 30.5×41.5 |
| 39    | 古川龍生 | 海の少女たち                         | 1967年  | 紙、木版     | 30.5×34.0 |
| 40    | 古川龍生 | 師走の逗子の銀座通り                     | 1967年  | 紙、木版     | 25.5×29.5 |
| (資料類) |      |                                |        |          |           |
| 1     | 古川龍生 | 稿画集                            | 1910年  | 冊子、墨、着色  | 13.4×19.4 |
| 2     | 古川龍生 | 「野球スケッチ」古川たつお画                 | 1914年  | 冊子、紙、印刷  | 14.5×10.5 |
| 3     | 古川龍生 | スケッチブック（千九百十六年十月二十日 日本画科 古川龍夫） | 1919年  | 冊子、鉛筆、着色 | 30.5×22.5 |
| 4     | 古川龍生 | スケッチブック                        | 1922年  | 冊子、着色    | 29.0×25.5 |
| 5     | 古川龍生 | スケッチブック                        | 1931年  | 冊子、鉛筆    | 19.4×14.1 |

#### (4) 第9回「10×15の世界コンテスト展」

応募期間 令和5年11月1日（水）～11月30日（木）（当日消印有効）  
 作品展会期 令和6年1月13日（土）～1月28日（日） 13日間開館  
 主催 小山市立車屋美術館



#### 概要

ポストカードの公募型展覧会です。メールやSNSなど、コミュニケーションの多様性が増す現代において、紙媒体によるコミュニケーションの特質の再考を提案し、市民の文化意識の向上と振興、そして次代を担う創造性豊かな人材の育成を図ることを目的としています。併せて、小山市ゆかりの美術家による特別展示コーナーを設け、広く発信し活動を支援する普及的側面をもちます。本年度は版画家で白鷗大学教授の齋藤千明氏を特別審査員に迎え、版画、立体作品あわせて9点を展示いただきました。応募作品の中から、市長賞、市議会議長賞、教育長賞、車屋美術館長賞、特別審査員賞を選出し、優秀な成績を収めたものとしてこれを表彰しました。

ポストカードという身近なもの、だれもが作品を作れる題材として、新たな興味の視点を作ること、これまでに来館されなかった方々に対しても、美術館に足を運んでいただく機会となることも期待し開催したものです。

観覧者数 498人  
 表彰式 令和6年1月13日(土)10:00～ 当館展示室  
 関連事業 小山市公式YouTubeチャンネルで展示風景動画を公開(約7分)

#### 入賞・入選者

| 区分                | 氏名     | 住所         |
|-------------------|--------|------------|
| 小山市長賞             | 宇内 翠   | 神奈川県横浜市    |
| 小山市議会議長賞          | 簡 川特   | 台湾・桃園市     |
| 小山市教育長賞           | 塩澤 優莉奈 | 栃木県小山市     |
| 小山市立車屋美術館長賞       | 池田 有希  | 奈良県奈良市     |
| 第9回特別審査員賞（齋藤千明氏選） | 高木 政史  | 東京都中央区     |
| 入選                | 原 かおり  | 栃木県小山市     |
| 入選                | 大島 晴美  | 栃木県下都賀郡野木町 |
| 入選                | 諸星 典子  | 栃木県小山市     |
| 入選                | 山口 秀子  | 愛知県一宮市     |
| 入選                | 畠中 和恵  | 京都府京都市     |
| 入選                | 鈴木 麻穂  | 埼玉県大里郡寄居町  |
| 入選                | 李 麗琴   | 台湾・新北市     |
| 入選                | 橘田 沙理  | 東京都世田谷区    |
| 入選                | 馬場 敦司  | 埼玉県越谷市     |
| 入選                | 和田 康史  | 岡山県津山市     |
| 入選                | 酒井 心愛  | 栃木県下都賀郡壬生町 |
| 入選                | 岩永 唯佑  | 栃木県小山市     |
| 入選                | 國分 菜月  | 栃木県小山市     |



|    |         |            |
|----|---------|------------|
| 入選 | 池田 美月   | 栃木県小山市     |
| 入選 | 佐藤 祐希   | 埼玉県さいたま市   |
| 入選 | 神田 健吾   | 埼玉県さいたま市   |
| 入選 | 篠山 綾香   | 千葉県船橋市     |
| 入選 | 小宅 哲哉   | 栃木県宇都宮市    |
| 入選 | 赤坂 克也   | 東京都多摩市     |
| 入選 | 野澤 朋加   | 栃木県日光市     |
| 入選 | 黒坂 稟    | 栃木県宇都宮市    |
| 入選 | 雨宮 巧    | 栃木県下都賀郡野木町 |
| 入選 | 曾川 和靖   | 栃木県小山市     |
| 入選 | かわい ゆうか | 愛知県名古屋市中   |

### 齋藤千明（令和5年度特別審査員）展示作品

|   | 作者   | 作品名                        | 制作年  | 材質                                         | 寸法(cm)        |
|---|------|----------------------------|------|--------------------------------------------|---------------|
| 1 | 齋藤千明 | 空蟬のかたち-2013- I             | 2013 | 紙衣、和紙に水性木版、コ<br>ラージュ、モノタイプ                 | h158×w90      |
| 2 | 齋藤千明 | 空蟬のかたち-2014- I (左衽)        | 2014 | 紙衣、和紙に水性木版、コ<br>ラージュ、モノタイプ                 | h130×w83      |
| 3 | 齋藤千明 | Lace up -fossil-2012- I    | 2012 | 1830年代のコルセット型紙<br>より、和紙、綿糸、ミヨウ<br>バン結晶、ガラス | h40×w20×d20   |
| 4 | 齋藤千明 | Lace up -1900-2014         | 2014 | 1900年代のコルセット型紙<br>より、和紙、綿糸、ミヨウ<br>バン結晶、ガラス | h47.5×w16×d20 |
| 5 | 齋藤千明 | cast off skin-etude-2008-1 | 2008 | 桜材に木彫、紙衣、標本箱                               | h38.5×w27×d6  |
| 6 | 齋藤千明 | cast off skin-etude-2008-2 | 2008 | 桜材に木彫、紙衣、標本箱                               | h38.5×w27×d6  |
| 7 | 齋藤千明 | cast off skin-etude-2008-3 | 2008 | 桜材に木彫、紙衣、標本箱                               | h38.5×w27×d6  |
| 8 | 齋藤千明 | cast off skin-etude-2008-4 | 2008 | 桜材に木彫、紙衣、標本箱                               | h38.5×w27×d6  |
| 9 | 齋藤千明 | Lace up -fossil-2012- II   | 2012 | 1830年代のコルセット型紙<br>より、和紙、綿糸、ミヨウ<br>バン結晶、ガラス | h40×w20×d20   |



## 2. 展示室貸出

|     |                                                                                                                                                                                                                            |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 期 間 | 令和6年2月1日（木）～3月17日（日）（開館40日間）                                                                                                                                                                                               |
| 趣 旨 | 企画展示開催期間を除いた一定の期間を展示室貸出期間として設定し、市民の芸術活動の発表の場として活用していただき地域文化の活性化を図ると共に、市民の文化的な活動と交流を支援する目的で貸し出しを行っています。（小山市立車屋美術館設置条例第6条～第15条及び同管理運営規則第5条～第12条）<br>[使用料金]（1日あたり最大）：小山市民・市内の団体等 2,500円<br>[使用日数]：1団体4日間まで（搬入、搬出含む）9:00～17:00 |

| No. | 内 容                                                     | 期 間                  | 入場者数(人) |
|-----|---------------------------------------------------------|----------------------|---------|
| 1   | 「猫幸神様と猫とつながる仲間展」<br>主催：ABC BOOK HOUSE<br>(猫をモチーフにした作品展) | R6. 2月22日(木)～25日(日)  | 175     |
| 2   | 「青陽堂絵画教室作品展」<br>主催：青陽堂<br>(絵画作品展示・子供の作品)                | R6. 2月29日(木)～3月3日(日) | 82      |
| 3   | 「第2回小山市美術家協会 絵画展」<br>主催：小山市美術家協会<br>(会員20名による絵画の展示)     | R6. 3月7日(木)～10日(日)   | 381     |
| 4   | 「第1回 陶遊会展」<br>主催：陶遊会<br>(会員11名による陶芸作品展)                 | R6. 3月14日(木)～17日(日)  | 280     |

## Ⅲ 小川家住宅公開事業

|    |                                                                                |
|----|--------------------------------------------------------------------------------|
| 概要 | 国登録有形文化財「小川家住宅」の公開を通年で行っています。小川家は、地元で肥料問屋を営んでいた元豪商。主屋（明治末年築）と土蔵、肥料蔵、庭園をご覧ください。 |
|----|--------------------------------------------------------------------------------|

| 開館時間             | 月      | 開始時間 | 終了時間  |
|------------------|--------|------|-------|
| ※入館は閉館30分<br>前まで | 4月～9月  | 9:00 | 17:00 |
|                  | 10月～3月 | 9:00 | 16:00 |

|     |                                                                                  |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------|
| 観覧料 | 一般100(団体60)円、高校・大学生 50(団体30)円<br>*中学生・義務教育学校生以下は無料 *障がい者手帳お持ちの方と付添一名無料 *団体は20名以上 |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------|

### ■肥料蔵内 ▶地域を知ってもらうための展示

小山市もその一部を有している渡良瀬遊水地を知っていただくため、遊水地で育成したヨシを使ったヨシ灯りを作成し、遊水地に関する紹介パネルとともに展示しています。

## IV 教育普及事業

### 1. 自主事業

#### (1) スタディプログラム

|   | 日 時                     | 内 容                                                              | 参加者数(人) |
|---|-------------------------|------------------------------------------------------------------|---------|
| 1 | 4月30日(日)<br>13:30～15:00 | レクチャー「掛軸ってなんだろう？」<br>講師：黒江 将太(東洋書画修理技師)<br>会場：市立博物館 体験学習室        | 30      |
| 2 | 7月23日(日)<br>14:00～16:00 | ワークショップ「キッチンリトグラフ」<br>講師：齋藤 千明(版画家、白鷗大学教育学部教授)<br>会場：市立博物館 体験学習室 | 14      |

#### (2) 作品鑑賞会・ギャラリートーク・講演

|   | 日 時       | 内 容                                     | 参加者数(人) |
|---|-----------|-----------------------------------------|---------|
| 1 | 5月13日(土)  | ギャラリートーク「横山大観展」① 古谷美也子(担当学芸員)           | 19      |
| 2 | 6月4日(日)   | ギャラリートーク「横山大観展」② 古谷美也子(担当学芸員)           | 20      |
| 3 | 6月17日(土)  | ギャラリートーク「横山大観展」③ 古谷美也子(担当学芸員)           | 24      |
| 4 | 8月13日(日)  | ギャラリートーク「細密工芸の華」① 五十嵐直子(担当学芸員)          | 6       |
| 5 | 8月27日(日)  | ギャラリートーク「細密工芸の華」② 五十嵐直子(担当学芸員)          | 26      |
| 6 | 9月17日(日)  | ギャラリートーク「細密工芸の華」③ 五十嵐直子(担当学芸員)          | 6       |
| 7 | 11月4日(土)  | ギャラリートーク「古川龍生展」<br>講師：大城茉里恵(栃木県立美術館研究員) | 17      |
| 8 | 11月19日(日) | 作品鑑賞会「古川龍生展」① 五十嵐直子(担当学芸員)              | 10      |
| 9 | 12月3日(日)  | 作品鑑賞会「古川龍生展」② 五十嵐直子(担当学芸員)              | 3       |

### 2. その他の事業

#### (1) 教育機関との連携(来館)

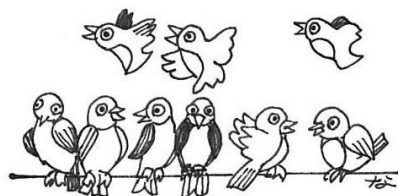
|   | 日 時             | 内 容                                                  | 参加者数(人) |
|---|-----------------|------------------------------------------------------|---------|
| 1 | 5月22日(木)・23日(金) | 美術館業務補助活動<br>間々田中学校2年生 職場体験学習                        | 3       |
| 2 | 8月22日(火)        | 小川家住宅、企画展「細密工芸の華展」見学他<br>小山市立博物館 学芸員実習生              | 5       |
| 3 | 10月31日(火)       | 小川家住宅、企画展「古川龍生展」見学<br>乙女小学校3年生 社会科総合学習               | 80      |
| 4 | 11月14日(火)       | 小川家住宅、企画展「古川龍生展」見学<br>間々田小学校2年生                      | 47      |
| 5 | 12月 3日(日)       | 小川家住宅、企画展「古川龍生展」見学 小山市立博物館開館40周年記念展関連事業「小山ミュージアムめぐり」 | 31      |
| 6 | 令和6年 2月 9日(金)   | 小川家住宅見学 宇都宮市立陽南中学校特別支援学級                             | 26      |

(2) 教育機関および各種団体との連携（出前講座）

|   | 日 時       | 内 容                                  | 参加者数(人) |
|---|-----------|--------------------------------------|---------|
| 1 | 5月22日(月)  | お絵かき教室 講師：中野晴永(館長)<br>網戸小学校 1、2、3年生  | 16      |
| 2 | 5月22日(月)  | 切り絵体験 講師：中野晴永(館長)<br>網戸小学校 4、5、6年生   | 12      |
| 3 | 6月13日(火)  | 館野弘青について 講師：五十嵐直子(学芸員)<br>豊田小学校 6年生  | 53      |
| 4 | 8月 1日(火)  | 館野弘青について 講師：五十嵐直子(学芸員)<br>豊田小学校 教職員  | 17      |
| 5 | 10月24日(火) | 高橋房次について 講師：山田淳子（業務係長）<br>小山第二小学校6年生 | 70      |
| 6 | 11月28日(火) | 齊藤鷗舟について 講師：五十嵐直子（学芸員）<br>小山第二小学校6年生 | 16      |

(3) 各種団体対応（来館）

|   | 日 時                | 内 容                                   | 参加者数(人) |
|---|--------------------|---------------------------------------|---------|
| 1 | 6月10日(土)           | 小川家住宅見学（読売旅行 旅人企画）                    | 28      |
| 2 | 7月15日(土)           | 小川家住宅見学（読売旅行 旅人企画）                    | 14      |
| 3 | 8月1日(火)            | 企画展「細密工芸の華」、小川家住宅見学（おやま国際交流会おいふぁOIFA） | 41      |
| 4 | 8月18日(金)           | 企画展「細密工芸の華」、小川家住宅見学（間々田公民館主催 はつらつクラブ） | 24      |
| 5 | 11月14日(火)          | 小川家住宅見学（読売旅行 旅人企画）                    | 25      |
| 6 | 令和6年1月6日(土)～19日(金) | 小川家住宅見学（JR東日本主催 駅からハイキング）             | 131     |



### 3. 車屋美術館ボランティア

**概 要** 小山市立車屋美術館では館の目的に賛同した上で、ボランティア活動を通してその業務を支援しながら、市民の芸術文化に関する理解と関心を深め普及に資するとともに、教養を豊かにすることを目的とするボランティアスタッフが活躍しています。

**活動内容** 小川家住宅の観覧者に対する案内・広報活動・その他必要な補助活動  
[特典]企画展観覧無料、企画展招待券配布※<sup>1</sup>、希望者に図録1部配布※<sup>1</sup>  
※<sup>1</sup> 直近半年間に5日以上活動した場合に適用

**会 員** 25 人（令和5年度新規登録者4人を含む）

（単位：人）

| 令和5年度<br>活動状況<br>(のべ) | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  |
|-----------------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
|                       | 18 | 27 | 28 | 27 | 16 | 26 | 25  | 28  | 23  | 30 | 21 | 22 | 291 |

#### ■研修会実施状況

|   | 日時・会場                                  | 内 容                                                                                       | 参加者数(人) |
|---|----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| 1 | 5月20日(土)<br>14:00～15:00<br>小山市立博物館     | 第1回車屋美術館ボランティア研修会<br>・新規希望者への説明会<br>・講演「間々田宿と小川家（車屋）の成り立ち」<br>講師：野口静雄氏（小山市立博物館長）          | 14      |
| 2 | 9月24日(日)<br>13:30～15:00<br>間々田市民交流センター | 第2回車屋美術館ボランティア研修会<br>・新規希望者への説明会<br>・講演「小川家コレクションについて」五十嵐直子(学芸員)<br>・展示内容にちなんだ落語 中野晴永(館長) | 12      |
| 3 | 令和6年3月9日(土)<br>9:00～16:15              | 研修先：国重要文化財「彦部家住宅」（群馬県桐生市）、群馬県立近代美術館(群馬県高崎市)                                               | 12      |



## V 名 簿

### 運営委員会委員

|      |       |                         |
|------|-------|-------------------------|
| 委員長  | 島田 紀夫 | 美術評論家・実践女子大学名誉教授        |
| 副委員長 | 小勝 禮子 | 現代美術史・美術批評家、京都芸術大学非常勤講師 |
|      | 杉浦 幸子 | 武蔵野美術大学教授               |
|      | 益田 勇一 | 白鷗大学教授                  |
|      | 荒井 友子 | 小山市教育委員会委員              |
|      | 増淵 輝子 | 小山市立大谷中学校教諭             |

### 職 員

|              |        |                 |
|--------------|--------|-----------------|
| 館 長          | 中野 晴永  | 非常勤特別職          |
| 副館長          | 佐久間 弘行 | 兼務（文化振興課 課長）    |
| 業務係長         | 山田 淳子  | 学芸員（民俗）         |
| 主 査          | 田野井 真美 |                 |
| 主 任          | 五十嵐 直子 | 学芸員（近代日本画）      |
| 主 査          | 中尾 英恵  | 学芸員（現代美術）※育児休業中 |
| 任期付職員        | 古谷 美也子 | 学芸員（近世絵画）       |
| 会計年度<br>任用職員 | 嶋田 由美子 |                 |
|              | 倉持 孝子  |                 |
|              | 松本 多美子 |                 |
|              | 小川 陽香  |                 |

小山市立車屋美術館館報  
令和5年度(2023年4月～2024年3月)

編集/小山市立車屋美術館  
栃木県小山市乙女3-10-34  
<https://www.city.oyama.tochigi.jp/kurumayamuseum/>